

クローサス アブソリュート リターン ファンド

2014年2月

はじめに



- 2012年設立
- ケイマン諸島籍
- 15年の運用経験があるマネジャーが在籍
- ポートフォリオ・マネジャーは2004年から実績を保有

投資目標



クローサス・アブソリュート・リターン・ファンドは、スペシャリスト・ファンドやヘッジ・ファンドを対象として投資し、値下がりを抑えながら、中長期的に年8%~13%のリターンを目指します。ポートフォリオ内の投資対象は、投資戦略、ボラティリティ、そしてリターンをもとに、慎重に厳選されます。当ファンドは、株式市場における相場変動の影響を抑え、どのようなマーケット状況でも収益をあげられるように設計されています。

ファンド選定プロセス



- 運用資産
- セクター平均
- ファンド規模
- パフォーマンス
- ピア・グループとの比較
- 2008年のパフォーマンス
- 最大ドローダウン
- レバレッジ分析
- ボラティリティ分析
- セクターの収益性及び安定性を鑑み、柔軟な投資方針を採用
- コリレーション分析
- ファンド対ファンド
- 対株式市場
- スムース・リターン

リスクとモニタリング・プロセス



- デュー・ディリジェンス
- 徹底した分析
- 社内専門家
- 投資助言会社 Privium(金融当局規制業者)
- 管理事務代行会社 Vistra
- 弁護士 Maples and Calder
- 年次会議と、四半期毎の電話会議を実施
- レッド・フラッグ
- 流動性の低下
- ゲート条項
- 出資不可日の有無
- モニタリング
- ストレス・テスト

クローサスが選ばれる理由



- クローサスが選ばれる理由
- 専門知識と豊富な経験
- 高い収益性
- 低ボラティリティ
- 投資単位の低さ
- 機関投資家向けファンドへのアクセス
- 分散投資
- 株式ポートフォリオに適したファンド
- ポートフォリオ・マネジメントの軽減

ポートフォリオ



- CTA(異なる市場をターゲットとした2つのファンド)
- 転換社債アービトラージ
- コモディティ・トレーディング・ファンド:短期コモディティ取引のアービトラージを利用した自己勘定による商品先物ファンド
- 用した自己勘定による商品先物ファンド。
- マルチストラテジー・分散ファンド
- ボラティリティ・テールリスク・ファンド
- 不動産投資
- 他ファンドへの追加投資も可能

投資対象の概要(1/2)



- CTA1: 世界最大規模のCTAファンドの一つです。ピア・グループよりもボラティリティが低く、安定的な素晴らしい運用実績を有しています
- CTA2: 主に中国市場に投資を行う、アジア最大規模のウェルス・ファンドの一つです。ピア・グループよりもボラティリティが低く、高い運用実績を有しています。
- 転換社債アービトラージ: マルチストラテジーを採用しており、主に日本市場、オーストラリア市場に投資します。運用実績は好調であり、パフォーマンスがマイナスとなった年はありません。ピア・グループよりも小規模のファンドであるため、市場に気づかれることなく、高い収益を上げることができています。
- エマージング市場: エマージング市場における最大規模ファンドの一つで、素晴らしい運用実績を有しています。アジア市場との関連が強く、エマージング市場の上昇トレンドから収益をあげるために組み入れられています。

投資対象の概要(2/2)



- **ロング・ショート・エクイティ:**ヘルスケア市場との関連が非常に高い、規模の大きなロング・ショート・エクイティ・ファンドです。エクイティのベア・マーケットを含め、高収益、低ボラティリティの素晴らしい運用実績を有しています。
- **ボラティリティ・テールリスク:**長期オプションを利用し、テールリスクのプロテクションを組み入れています。このファンドは、投資先の中でも10年間の運用実績があり、通貨危機、金市場の急激な高騰、サブプライム危機等のいわゆるブラック・スワン・イベント、大規模なマクロイベントのために組み入れられています。
- **不動産投資:**英国の不動産に短期の投資を行います(18~24か月)。経験豊かなファンド・マネジャーにより運用され、英国の不動産開発市場で確固とした運用実績を有しています。組み入れているファンドのパフォーマンスが落ちた場合のプロテクションのために組み込まれています。

運用報告 — 2014年1月



クローサス・アブソリュート・リターン・ファンド(米ドル)の1月のパフォーマンスは、-0.34%と若干の下落となりました。今月は主要なCTAファンドの多くが大幅な下落を記録しましたが、当ファンドのボラティリティを抑えた、バランスの良い運用方針がうまく活かされました。他のピア・グループと同様、当ファンドの最大のCTAファンドも今月は下落となりました。より規模の小さいアジア市場に特化したCTAファンドは上昇し、ファンド全体としては規模の大きいファンドと小さいファンドが非常にうまく混じり合い、良いバランスを保つことができました。ボラティリティ・テイルリスク・ファンドは若干上昇しました。今年の市場はボラティリティが上昇する傾向にあることを示しています。ロング・ショート米国エクイティファンドは今月素晴らしい成績を上げており、CTAファンドでの下落分を取り戻しました。不動産ファンドと新しく取り込んだコモディティ・アービトラージ・ファンドは引き続き上昇基調にあります。転換社債アービトラージ・ファンドも今月良い結果を出しました。今月は、CTAファンドが大幅な下落を記録しましたが、全体としては良い結果を残すことができました。

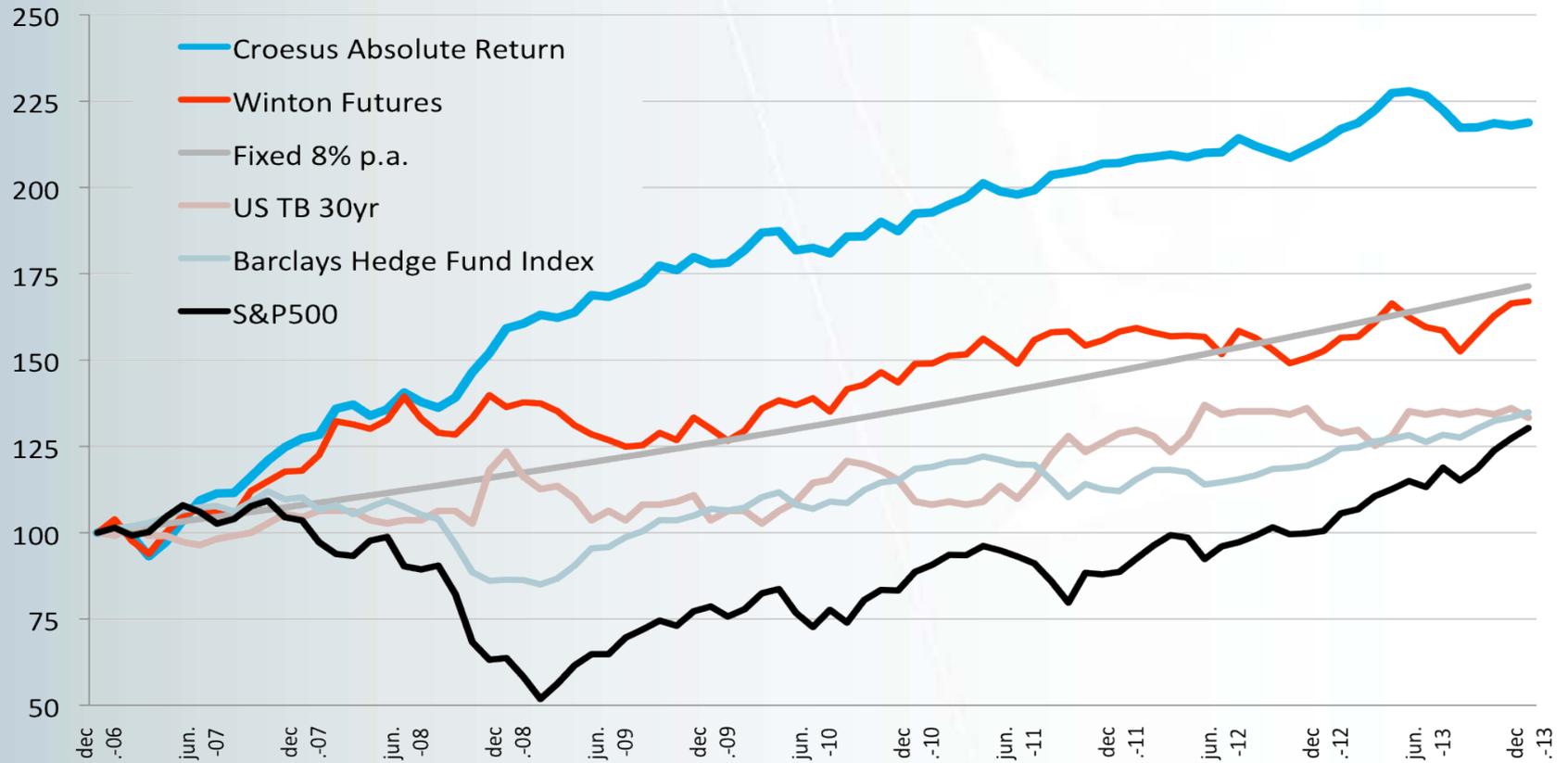
運用報告 — 2014年1月
米ドル



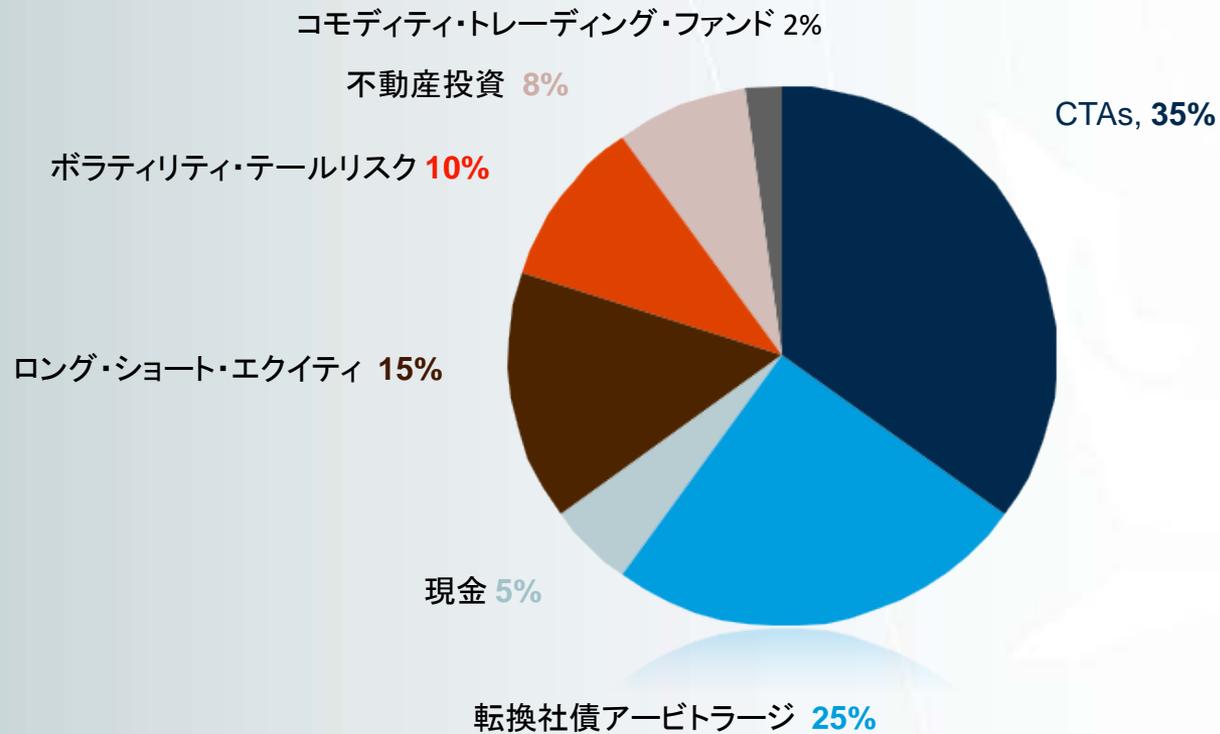
%	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	YEAR
2008	1.10%	6.05%	1.74%	-2.24%	1.41%	3.58%	-1.60%	-1.19%	2.15%	5.29%	4.39%	5.30%	22.08%
2009	1.55%	1.70%	-0.28%	0.94%	3.13%	0.16%	1.12%	1.45%	3.05%	-0.33%	2.14%	-0.89%	11.68%
2010	0.18%	2.08%	2.93%	0.65%	-2.93%	0.38%	-0.86%	2.67%	0.04%	2.26%	-1.20%	2.71%	7.57%
2011	0.35%	1.21%	1.20%	2.28%	-0.85%	-0.46%	0.63%	2.21%	0.55%	0.48%	0.87%	0.22%	7.39%
2012	0.63%	0.32%	0.35%	-0.33%	0.63%	0.12%	1.93%	-0.77%	-0.81%	-0.79%	1.16%	1.18%	3.09%
2013	1.58%	0.99%	1.85%	2.47%	0.54%	-0.50%	-1.93%	-2.41%	0.64%	-0.10%	-0.27%	0.44%	3.30%

全ての年間パフォーマンスの数値は、運用報酬、パフォーマンス報酬を差し引いた値です。
*ファンド設立以前の運用実績は、以下に記載されるポートフォリオ内の各ファンドの実際のパフォーマンス値をもとに計算されています。但し、CTAファンド1、ロング・ショート・ファンド1、及び不動産ファンドについては、2010年以降の数値を運用実績に加えて計算しています。)

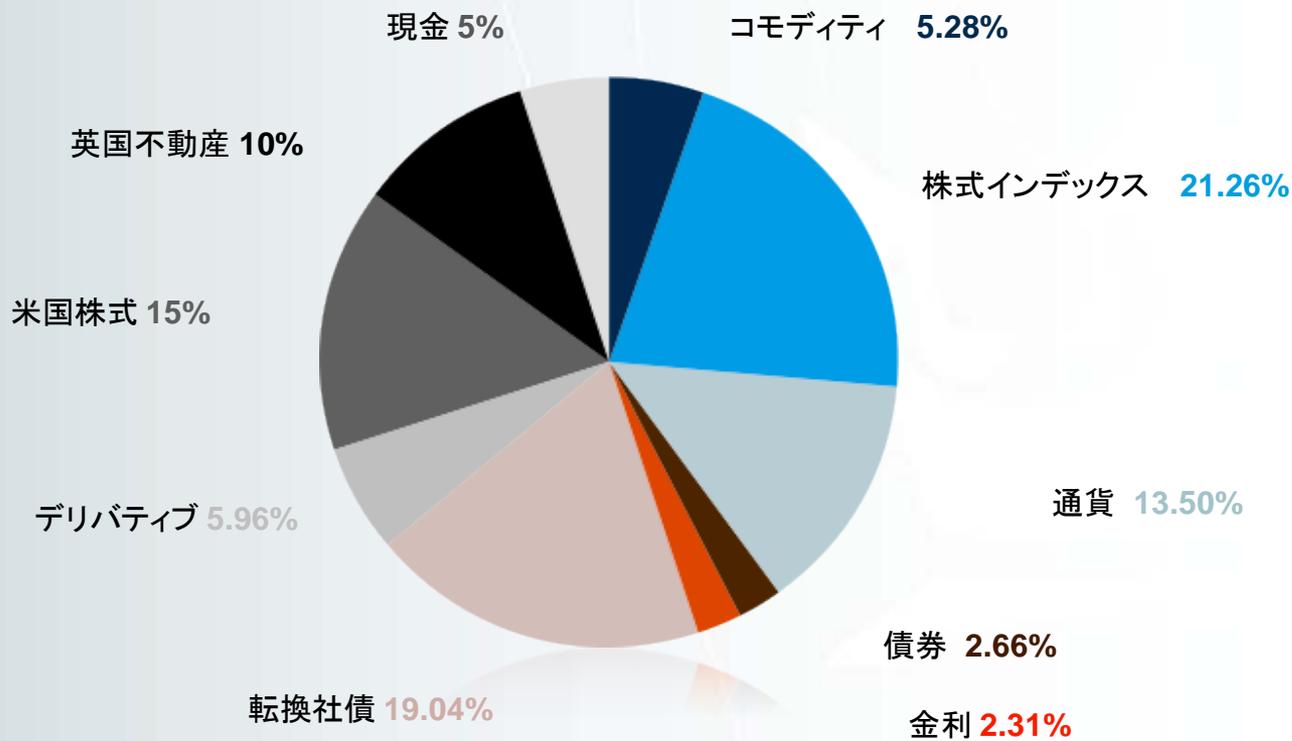
パフォーマンス



ポートフォリオ



資産配分



クローサスが選ばれる理由



- クローサスが選ばれる理由
- 専門知識と豊富な経験
- 最低投資単位 50,000米ドル
- 高い収益性
- 低ボラティリティ
- 投資単位の低さ
- 機関投資家向けファンドへのアクセス
- 分散投資
- 株式ポートフォリオに最適
- ポートフォリオ・マネジメントの軽減

The background features a faint, light blue illustration of a person's profile in profile, facing right. A large, stylized leaf-like shape is positioned behind the person's head and neck. The entire scene is set against a gradient of blue, transitioning from a darker shade on the left to a lighter shade on the right.

croesuscapital.net